

委員提案一覧

○豊かな文化と心を育むまちづくり

委 員	内 容
石見委員	スポーツ大会やレクリエーション等は、旧町村単位で今までの事業を引き継いで実施されているようですが、隣接の旧町村やエリアが連携を取り交流を深めていきたいものです。各地区の体育協会やスポーツクラブ等の連携が取れるように配慮していただきたいものです。
石見委員	生涯学習や教養講座の参加は、市内の公民館のどこでも学習できるので受講者が増えているようです。しかし、それぞれの公民館で企画されているようですが、生涯学習課等で連携を取りながら、幅広く同じ講座でも場所や開催日時等を考慮して、可能な範囲で参加者の希望がかなえられるように配慮していきたいものです。
今井委員	地域を生かした文化の伝統を守りたい。
今井委員	公民館の行事を推進して地域が発展することを願う。
今井委員	伝統文化を継承することに自治会としても応援したい。
大幡委員	「青少年の健全育成」 青少年健全育成の活動として、現在の小学生が参加する地域活動中心から、中学生、高校生が参画する地域活動を推進する意味から中学生、高校生が参画・参加する子どもまつりの実施を提案します。
海住委員	多気北畠氏館跡と伊勢本街道の保存活用が遅れていることから、早急な整備の取組と同時に大切な歴史遺産であることを市民全体で認識できるような方法を考える必要がある。 例： 1. 学校教育での取組 2. 公民館活動等での取組・PR 等
川北委員	幼稚園・保育園、小学校、中学校の教育の中で、地域で活動されている方を先生にできる取り組みを強化できないか。逆に自治会活動に若者が入る仕組みも必要。
小泉委員	「学校教育に於ける教育環境の整備・充実について」 ・教職員の孤立化を防ぐサポートの必要性 ・中学生のクラブ活動・スポーツ少年団活動のあり方を再考すべきではないか。年中無休の活動→週1日程度は家庭人、地域人に。

委員提案一覧

小泉委員	<p>「生涯学習に関する公民館のあり方について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域リーダーの養成不足 ・ 課題講座、教養講座の選定のあり方 ・ 世代間交流・地域間交流の積極的な取組
須山委員	<p>「家庭教育の充実」</p> <p>子どもの健全な育成において、家庭における教育が重要な役割を果たすことから、保護者が家庭教育を適切に行える支援の充実が必要ではないか。</p>
中川委員	<p>社会教育主事がないことが問題。</p>
長谷川委員	<p>市民が豊かな人生を送るためには、スポーツの振興が必要であり、それらの活動の場となるスポーツ施設の充実を進め、誰もがスポーツ・レクリエーションに取り組める環境づくりが必要ではないか。</p> <p>また、スポーツ・レクリエーションの振興には、地域や学校での指導者の不足が問題となっていることから、スポーツ団体等との協働による指導者育成の取組が必要ではないか。</p>
服部（基）委員	<p>津市は規模の拡大により、多彩な地域を抱えることとなりました。それぞれの地域には、まだまだ文化的遺産が眠っているように思います。</p> <p>すぐに修復や改修までは無理でも記述として残す必要があると思います。</p> <p>たとえば、白山町、家城ラインの河川に沿って、平安時代文治6年（1190年）に岩盤が人の手によってくりぬかれ、疏水として残っています。（地域住民は修復を望んでいる）</p>

委員提案一覧

○参加と協働のまちづくり

委 員	内 容
大幡委員	「市民活動の推進」 ボランティア活動及び地域を担うリーダーとなる人材育成のためにボランティアまつりを計画、実行し、実行委員会メンバーは公募とし計画の段階から参画する。
川北委員	指定管理について 現在の公設公営の施設をもっと指定管理に出し、かつ、公設民営の施設も、もっとプロポーザルし、 競争させた方が津市の市民活動組織の底上げになるのではないか。
須山委員	「活気あるまちづくり」 活気あるまちを目指すために、市民がどう考え、どのように行動するべきか。
田部委員	いかにしたら NPO は社会の担い手いになり得るか。 NPO の使命である社会改革の旗手となれるのか。 その解決に向けて、中間支援組織と呼ばれている組織の個々の NPO への支援のあり方、それと共に行政の中堅支援組織への姿勢について。
中川委員	地域における人材育成の充実・拡大について
中川委員	地域における諸活動（防災訓練・清掃活動、諸会合等）に不参加（無関心）層に対する対策について
中川委員	自治会の役員が毎年変わることが問題。地域の力が弱くなる。